

## 付録 A 派生機種用の性能測定結果用紙について（参考）

### 基本性能型式と派生機種

本基準および本マニュアル、性能測定結果用紙は、原則として適用範囲の品目の独立部位ごとに試験を行うことを前提に作られている。実際の製品では、ある 1 つの型式の基本性能（本基準の指標）がまったく同じでありながら別の型式を持った製品や複数の基本性能の独立部位が組み合わされた型式などが存在する。それらを基本性能の型式の派生機種と呼ぶ。その派生機種の種類を表 A.1 に示す。

基本性能の型式の性能測定結果があれば、派生機種の試験を省略して、その派生機種の性能測定結果用紙を作成することができる。

表 A.1 派生機種の種類

派生機種の種類	説明	該当例
①複数の独立部位を持つ型式	適用範囲の品目がすべて同じである独立部位が複数あり、それらを同時に使用できる機器	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数口を持ったテーブルレンジ</li> <li>・多段式立体炊飯器</li> <li>・2槽式のフライヤや麺ゆで器</li> <li>・2段式のコンベクションオーブン</li> </ul>
②外形寸法の異なる型式	基本性能に影響を及ぼすとは考えられない外形寸法の異なる型式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全く同じ構成で、高さだけが異なる卓上レンジとテーブルレンジ</li> </ul>
③付属品の異なる型式	基本性能に影響を及ぼすとは考えられない付属品等が異なる型式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給水口の左右又は有無が異なるだけの麺ゆで器</li> <li>・排水機能がドロースタイルであるかないかの違いだけの回転釜</li> <li>・オートリフト機構付きの違いだけのフライヤや麺ゆで器 (シャッター機能の有無の麺ゆで器は、それぞれ別性能の型式となる)</li> </ul>
④制御関係が異なる型式	基本性能に影響を及ぼすとは考えられない制御やソフトウェア等が異なる型式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アナログ式とデジタル式の違いだけの機器</li> <li>・スチームコンベクションオーブンの単純機能タイプと高機能プログラム調理タイプ</li> </ul>

### 派生機種用の性能測定結果用紙の記入の仕方

すべての品目に関し、派生機種用の性能測定結果用紙を用意している。その用紙に型式名や製品仕様等の情報、同一の基本性能型式名と基本性能型式との違いなど所定の必要事項を所定の位置に記入した後、基本性能型式の試験報告書の表紙の性能の記入欄をそのままコピーし、派生機種用の性能測定結果用紙の印刷指定されていない右側の所定の欄にそのまま貼り付ければ性能試験結果が出来上がるようになっている。テーブルレンジ類（電気機器）の例を図 A.1 に示す。

ただし、2 槽式のフライヤや麺ゆで器および多段式の立体炊飯器に関しては、性能測定結果用紙そのものの中で槽数または釜数を入れる欄があり、そこに槽数または釜数を入れれば、自動的にそれぞれの性能が計算され表示されるようになっている。

性能試験結果	1.定格消費電力		$p_r$	3.0	(kW)	消費電力の許容差 +10%、-10%	
	2.熱効率	①立上り時	$\eta_s$	89.8	(%)		
		②沸騰時	$\eta_b$	81.8	(%)		
	3.立上り性能		$t_s$	1.89	(s/kg°C)	1 kg の水	
	4.調理能力		規定なし				
	5.消費電力量	①立上り時	規定なし				
		②調理時	$Q_c$	3.000	(kWh/h)		
		③待機時	規定なし				
		④日あたり消費電力量	$Q_{dH}$	7.5	(kWh/日)	調理時間 2.5 h/日	

① ココを一括でコピーする

③ ココに口数を入れる

1.定格消費電力		$p_r$	10.0	(kW)	消費電力の許容差 -10% +5%	
a	x	2	5.0	(kW)		
	x		---	(kW)		
	x		---	(kW)		
2.熱効率	a	①立上り時	$\eta_s$	89.8	(%)	
		②沸騰時	$\eta_b$	81.8	(%)	
	b	①立上り時	$\eta_s$	---	(%)	
		②沸騰時	$\eta_b$	---	(%)	
c	①立上り時	$\eta_s$	---	(%)		
	②沸騰時	$\eta_b$	---	(%)		
3.立上り性能	a	$t_s$	1.89	(s/kg°C)	1 kg の水が1 °C上昇する時間(秒)	
	b	$t_s$	---	(s/kg°C)	1 kg の水が1 °C上昇する時間(秒)	
	c	$t_s$	---	(s/kg°C)	1 kg の水が1 °C上昇する時間(秒)	
5.消費電力量	①立上り時	規定なし				
	②調理時	$Q_c$	6.000	(kWh/h)	全口最大入力	
	③待機時	規定なし				
	④日あたり消費電力量	$Q_{dH}$	15.0	(kWh/日)	調理時間 2.5 h/日	

② ココに数値として一括で貼り付ける。複数の基本性能型式がある場合には、a、b、c 列にそれぞれを張り付ける

図 A.1 派生機種用の性能測定結果用紙記入方法  
(2 口テーブルレンジ (電気機器) の例)